

登録コード	A9507900	開講年度	2026			
授業科目	農業科指導法				担当教員	飯沼 尚隆
英文授業名	Teaching Method in Agriculture					
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生
講義室	農学部 1 4 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】農学に関する広い知識・技術を修得している				・学習指導要領についてその内容を十分理解し、それに沿った授業計画を立案できる。 ・模擬授業等の実践を通じて、立案した授業計画の改善ができる。 ・農業クラブやプロジェクト学習の概要について理解し、その趣旨に沿った学習プログラムを立案できる。	
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。				・学習指導要領についてその内容を十分理解し、それに沿った授業計画を立案できる。 ・模擬授業等の実践を通じて、立案した授業計画の改善ができる。 ・農業クラブやプロジェクト学習の概要について理解し、その趣旨に沿った学習プログラムを立案できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	・高等学校学習指導要領解説農業編を用い、以下の内容について教授する。 ・農業科指導法 に引き続き、農業科教育の理論と実践に関して、学習指導要領の改訂の経緯と趣旨・要点について。 ・学習指導要領に沿った授業計画の作成手順等について。 ・授業、模擬実験・実習などを取り入れて、実践的な農業科教育のあり方。 ・農業科教員の養成や教員採用試験の動向に対応して、教職志望の学生の希望を達成できる教育を進める。					
(5)授業計画	1 . ガイダンス、農業教育の在り方、農業教師に求められるもの、教員採用までの道のり 2 . 高等学校学習指導要領について (1) (農業と環境、課題研究、総合実習、農業情報処理) 3 . 高等学校学習指導要領について (2) (教科「農業」の各科目について) 4 . 学習指導方法 (1) — 農業科における学習指導の過程— 5 . 学習指導の類型 (1) — 農業科の実験・実習法による学習指導を中心に— 6 . 学習指導の類型 (2) — 農業科のプロジェクト法による学習指導を中心に— 7 . 学習指導の類型 (3) — 学校農業クラブによる学習指導を中心に— 8 . 学習指導計画の作成 (1) - 学校指導計画の意義 - 9 . 学習指導計画の作成 (2) - 年間指導計画の具体例と作成 - 1 0 . 学習指導計画の作成 (3) - 題材 (単元) 指導計画の具体例と作成 - 1 1 . 学習指導計画の作成 (4) - 学習指導案の具体例と作成 - 1 2 . 学習指導案の作成と模擬授業 (1) — 模擬授業の実践— 1 3 . 学習指導案の作成と模擬授業 (2) — 模擬授業の改善— 1 4 . 学習指導案の作成と模擬授業 (3) — 模擬実験— 1 5 . 学習指導案の作成と模擬授業 (4) — 模擬実習— 授業アンケート 1 6 . 期末試験					
(6)自主学習の指針	授業内で紹介する資料や、新聞・インターネット等の情報に日頃から目を通すとともに、自分の周囲における農業関連の事例や課題に、常に関心を向けておくこと。					
(7)成績評価の基準	授業における小課題、科目の指導計画、授業の指導案、模擬授業において、作成して実施でき (C段階)、必要な要素を満たしたもので (B段階)、実践方法を適切に把握して高校農業教育に活かせる内容 (A段階) として担当教員を感心させるもの (S段階) になっていたかを評価する。					
(8)事前事後学習の内容	・授業の進度に従って「高等学校学習指導要領」「高等学校学習指導要領解説 (農業編) 」等について、内容を整理・把握して授業に臨むこと。 ・授業の進度状況に即して課される課題レポートを作成すること。 ・農業に関する科目の内容を研究して、授業計画、評価計画、学習指導案等を作成し、出席者への配布資料を印刷して、模擬授業の準備をすること。					
(9)テストやレポートの予定	内容の区切りごとの小レポート、科目の指導計画、授業の指導案、全講義終了時の課題レポート					
(10)成績評価の方法	・原則として出席率6割以下は受講者として認めない。 ・受講態度20%、課題レポート40%、授業計画案および模擬授業40%					
(11)質問、相談への対応および連絡先	少人数の授業であるので、できるだけ授業内で質問相談に答えていく。メールでも対応する。					
(12)履修上の注意	将来の高校農業教育を担う教員を育てる授業であり、農業教育の魅力を知ってもらいたい。幅広く興味を持って、積極的な学習姿勢を期待する。					

【教科書】	高等学校学習指導要領・高等学校学習指導要領解説 総則編・高等学校学習指導要領解説 農業編
【参考書】	生井 兵治 他(著)「新版 農業の基礎」(農文協)2003年・農山漁村文化協会編「季刊 最新農業技術」(農文協)、「対外報告・農学教育のあり方」(日本学術会議生産農学委員会農学教育分科会)2008年 ，唐澤 豊 他著「畜産学入門」(文永堂出版)2012年，金浜耕基編著「園芸学」(文永堂出版)2009年 ，平沢正 他著「作物学」(文永堂出版)2013年